

2021年11月12日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
(コード番号 8316)剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを本日開催の取締役会において決議し、また2022年3月期の普通株式1株当たり期末および年間配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の内容

| | 決 定 額 | 直近の配当予想 (2021年5月14日公表) | 前期実績 (2021年3月期) |
|-----------|------------|---------------------------|--------------------|
| 基 準 日 | 2021年9月30日 | 同左 | 2020年9月30日 |
| 1株当たり配当金 | 105円 | 100円 | 95円 |
| 配 当 金 総 額 | 143,936百万円 | — | 130,190百万円 |
| 効 力 発 生 日 | 2021年12月3日 | — | 2020年12月3日 |
| 配 当 原 資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

2. 配当予想の修正内容

| 基 準 日 | 1株当たり配当金（円） | | |
|----------------------------|-------------|-----|-----|
| | 第2四半期末 | 期 末 | 年 間 |
| 前 回 予 想 (2021年5月14日公表) (A) | 100 | 100 | 200 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | | 105 | 210 |
| 当 期 実 績 (B) | ※105 | | |
| 増 減 額 (B-A) | +5 | +5 | +10 |

| | | | |
|--------------------|-----|-----|-----|
| 前期実績(2021年3月期) (C) | 95 | 95 | 190 |
| 増 減 額 (B-C) | +10 | +10 | +20 |

※「1. 剰余金の配当（中間配当）の内容」における1株当たり配当金の決定額

3. 理由

同日公表の2022年3月期第2四半期決算において2022年3月期の連結業績予想を引き上げたこと等に伴い、剰余金の配当（中間配当）を従来予想の1株当たり100円から5円増額して105円といたしました。

同様に期末配当予想も従来予想の1株当たり100円から5円増額して105円とし、年間配当予想は1株あたり210円と、前回予想から10円、前期実績から20円の増配を予想しております。

以 上

本資料には、当社の財政状態及び経営成績に関する当社及び当社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式に係るリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合弁事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社は、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社が公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。